

2026 平和行動 in 長崎 報告

日 程：2026年8月8日（金）～9日（土）

参 加：連合岐阜 6 名

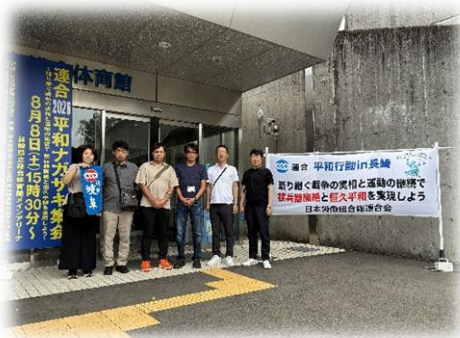
はじめに

長崎の平和行動は、連合愛知、連合三重、連合岐阜の三県が行動をともにし平和集会等に参加しました。三県の交流を図りながら、長崎の原爆被害などについて見聞を深め、原爆被害者を悼む式典に参加しました。

1. 被爆81年 連合2026平和ナガサキ集会（8/8長崎県立総合体育館） ～語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で 核兵器廃絶と恒久平和を実現しよう～

連合長崎会長岩永氏の開会あいさつで始まり、主催者代表として連合事務局長神保氏が登壇しました。平田研長崎県知事、鈴木史朗長崎市長から来賓の挨拶がありました。

被爆者の訴えでは、当時3歳で被爆された松本さんから、当時の様子や親から聞いた話を聞くことが出来ました。「変わる国際秩序と核兵器」と題して長崎大学核兵器廃絶研究センター長吉田文彦氏の基調講演や若者からのメッセージとして「ナガサキ・ユース代表団」「高校生平和大使」からの報告やナガサキからの平和アピール採択そして、9月に行われる平和行動 in 根室へピースフラッグが引き継がれ、閉会されました。



2. 長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典（8/9 サテライト会場：出島メッセ長崎）

サテライト会場にて原爆者追悼の祭壇が設けられ、献花を行いました。長崎平和宣言を鈴木長崎市長が行い、核抑止論の危うさを訴え、「長崎を最後の被爆地に」と核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けての宣言を述べられました。



3. 連合ピースウォーク（8/9 平和公園および爆心地公園）

爆心地公園と平和公園内を、連合スタッフによるガイドのもと、爆心中心碑や浦上天主堂の遺壁、原爆で家が一瞬にて押し潰され地層となった所、残された防空壕など目の当たりにしガイドの話を聞きながら原爆の悲惨さを改めて思い知らされました。



・感想

被爆81年、被爆者の方から「昔話ではないです」と言われ、今も世界各地で行われる紛争、核抑止力として世界に12,000発以上ある核弾頭の現状、「平和の原点は、人間の痛みがわかる心を持つこと」そして「長崎を最後の被爆地に」と、平和行動は、改めて戦争の悲惨さと平和を続けていく難しさを考えさせられる貴重な機会となりました。

ピースメッセージ #1

基幹労連 O・Jさん

「連合岐阜 平和行動 in 長崎」に参加し、改めて平和の尊さと、私たち一人ひとりが果たすべき責任について深く考える機会となりました。

被爆地・長崎を訪れ、原爆資料館の展示や被爆体験に触れるなかで、原子爆弾がもたらした惨禍の大きさを実感しました。写真や遺品、被爆者の証言からは、一瞬にして多くの尊い命や平穏な暮らしが奪われた現実が伝わり、胸が締め付けられる思いでした。

また、戦後 80 年以上が経過し、被爆者の高齢化が進むなかで、被爆の実相を次の世代へ語り継いでいく重要性を強く感じました。戦争を知らない世代が増える今だからこそ、実際に現地を訪れ、学び、感じたことを職場や地域、家族に伝えていくことが私たちの役割であると思います。

現在も世界各地で紛争が続き、多くの人々が不安な日々を送っています。

平和は決して当たり前ではなく、多くの人々の努力によって守られていることを改めて認識しました。対話を大切にし、人権や民主主義を守る取り組みを進めることが、平和な社会の実現につながると感じています。

今回の平和行動で学んだことや感じたことを心に刻み、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて、自分にできることを考え行動していきたいと思います。そして、平和の大切さを周囲の仲間と共有し、未来の世代へつないでいく決意を新たにしました。

貴重な機会をいただきありがとうございました。



ピースメッセージ #1

基幹労連 O・Yさん

今回、「連合岐阜 平和行動 in 長崎」に参加し改めて平和であることの大切さについて考える機会となりました。

平和行動として長崎の被爆地を訪れ、原爆によって尊い命が失われたことや、被爆された方々がその後も長く苦しみ続けてきたことを改めて学びました。

実際に長崎の街を訪れ、原爆資料館や平和公園などを見学する中で、戦争や原爆の恐ろしさをより身近なものとして感じました。写真や資料、被爆された方々の証言に触れることで、当時の出来事が単なる歴史ではなく、実際にそこに暮らしていた一人ひとりの人生に起きた出来事だったのだと強く感じました。

普段、何気なく過ごしている平和な日常も、決して当たり前のものではありません。今回の見学を通じて、平和の大切さを改めて考えるとともに戦争の悲惨さや被爆の実相を後世に伝えていくことの重要性を感じました。

今回の平和行動で感じたことを今後の組合活動に活かし、仲間とのつながりを大切にしながら、平和で安心して働き、暮らせる社会の実現に向けて行動していきたいと思います。

貴重な機会をいただきありがとうございました。



ピースメッセージ #1

交通労連 K・Hさん

今回、平和行動に参加して、大変有意義な時間を過ごさせていただき感謝しております。他労組の方たちとの親睦を深める事が出来、そこでいろいろなお話をお伺いさせていただき勉強になりました。

夕食の三県合同懇親会では、他県の労組の方々との会食で楽しく懇親を深める事が出来ました。また、グラバー園、大浦天主堂、軍艦島デジタルミュージアムと、長崎の主たる観光地を見学させていただき良い思い出となりました。

初日の長崎県立総合体育館での連合 2026 平和ナガサキ集会での講演や被爆体験談など大変貴重なお話を聞くことが出来、深く心に残りました。

翌日のピースウォークでは、原爆資料館や実際の爆心地を巡り、改めて原子爆弾の恐ろしさと戦争が悲惨な行為であるかを思い知りました。戦後81年、今の平和な世の中の生活がいかにありがたいモノであるか、そしてこの平和な時代をこの先も守り続ける為に、今回の平和行動で学んだ事を広めていきます。



ピースメッセージ #1

交通労連 Y・Tさん

今回の平和行動を通して、実際に被爆者の話を聞き、また資料館で当時の惨状を記した写真を見て、多くの人命がその未来が一瞬で失われた出来事であることを実感しました。

今も戦争紛争が実際に起こっています。

もう2度と何処の国でも都市でも同じ惨劇を繰り返してはならないと感じました。

「長崎を最後の被爆地に」この言葉の実現に向けて、私に何ができるのか、考え行動していきたいと思います。

一緒に参加されたメンバーに恵まれまして、他分野労組の皆様と良い情報交換と交流する事も出来ました。

事務局の村橋さんには参加者が戸惑うことなく活動が終えられました事に改めて感謝致します。

2日間ありがとうございました。

